

定型的・定常的なデータのモニタリング

<定型的なデータや指標を定点観測のうえ、改善・質的向上に資する情報を提供する>

1 各種学生調査の実施

⇒単なる数値の提供ではなく、改善・質的向上に資する情報として提供

これまでの取り組み内容

他データベースとの接続・パネル分析が可能な記名式調査の実施。

調査報告書に学内外の動向に応じたテーマ設定と統計手法を用いた分析<分析編>を追加。

学部執行部に対する学部別レポートの提供による、自己点検・評価の支援。

学部執行部や事務部局に対する個別説明会の開催による、自己点検・評価の支援。

戦略的・課題思考の分析□

<各組織が直面する課題や戦略策定、意思決定のための調査・分析を実施する>

Institutional Research (IR) 企画運営委員会の下に作業プロジェクトを設置

⇒一方通行型ではなく、各組織の課題意識にコミットした双方向型の活動

1

これまでの取り組み内容

キャリアセンターとの活動を通じた、正課・正課外教育の学習成果等の測定と可視化。

学生センターとの活動を通じた、正課・正課外教育の学習成果等の測定と可視化。

ニーズベースでの分析と活動支援

これまでの取り組み内容 (クリックすると関連ページに遷移します)

SciValの学術情報・研究業績データを用いた比較分析。
→研究開発センターにて第二期中期経営計画の取り組み施策「研究力向上と指標による見える化管理」として継続中

成績優秀者他学部科目履修制度の履修行動分析。
→市ヶ谷コミュニティ連携会議での「文理融合プログラム」の検討

FD推進センターによる学習成果の測定と可視化の支援。
→副学長プロジェクト「DXイニシアティブプロジェクト」での学修成果可視化システムHaloの検討

教育開発・学習支援センターによるオンライン授業に関する学生調査の支援。
→コロナ禍における各種施策検討の基礎資料

スーパーグローバル大学創成支援事業における学習成果(グローバルマインド)の測定のための分析。

リカレント教育オフィスにおけるリカレント教育プログラムのニーズ調査の支援。

数理・データサイエンス・AIプログラムにおける学習成果の測定とカリキュラムレビューのための分析。
→法政大学データサイエンスセンターにて継続中

2